



令和4年8月9日
 道路局施設課
 南区南土木事務所
 緑区緑土木事務所
 神奈川県警察

神奈川県内初!!「ゾーン30プラス」を設定しました

～南区大岡小学校周辺地区及び緑区中山町地区における安全対策～

ゾーン30プラスとは、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、最高速度30km/hの区域規制「ゾーン30」とハンプやスムーズ横断歩道といった「物理的デバイス」との適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域のことで、道路管理者と警察が連携しながら整備を進めています。

このたび、「南区大岡小学校周辺地区」及び「緑区中山町地区」を「ゾーン30プラス」に設定しました。

この取組は神奈川県内で初めての取組となります。

～設定箇所～

- ・南区大岡小学校周辺地区
 (住所: 南区大橋町二丁目・三丁目、中島町三丁目・四丁目、通町三丁目一部、四丁目一部)
- ・緑区中山町地区 (住所: 緑区中山二丁目、三丁目)



位置図



南区「ゾーン30プラス(標識・標示)」設置状況

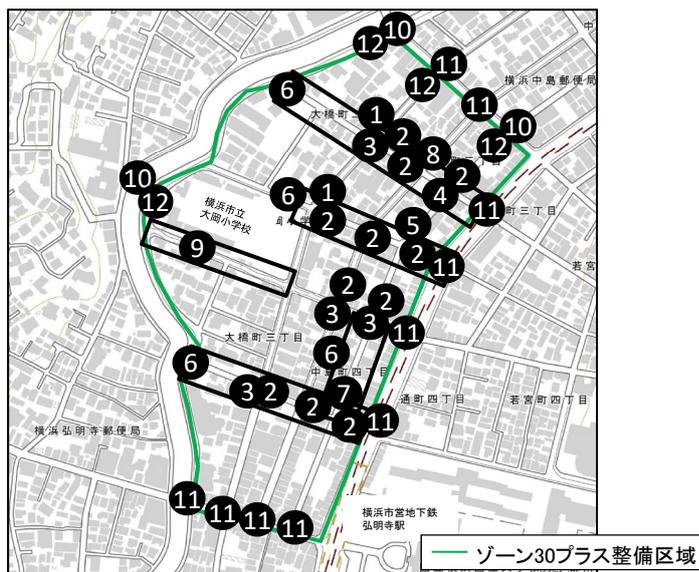
* 対策内容の詳細については、裏面をご覧ください。

お問合せ先		
(取組について)道路局施設課長	栗本 高史	TEL 045-671-3557
道路局施設課担当課長	吉仲 光	〃
(施工について)南区南土木事務所副所長	金子 真嗣	TEL 045-341-1105
緑区緑土木事務所副所長	加藤 日出美	TEL 045-981-2100
(規制について)神奈川県警察本部交通規制課	TEL 045-211-1212(内線5161)	

裏面あり

○南区大岡小学校周辺地区(対策内容)

No	対策内容
1	狭さく
2	「止まれ」の強調表示
3	交差点カラー舗装
4	交差点ハンプ
5	ハンプ
6	路側帯拡幅
7	減速ドットライン
8	交差点カラー枠囲み
9	スラローム
10	ゾーン30プラス標識(標準タイプ)
11	ゾーン30プラス標識(縮小タイプ)
12	ゾーン30プラス路面標示



国土地理院の地理院地図に対策実施箇所等を追記して掲載



①狭さく



④交差点ハンプ

横浜市HP

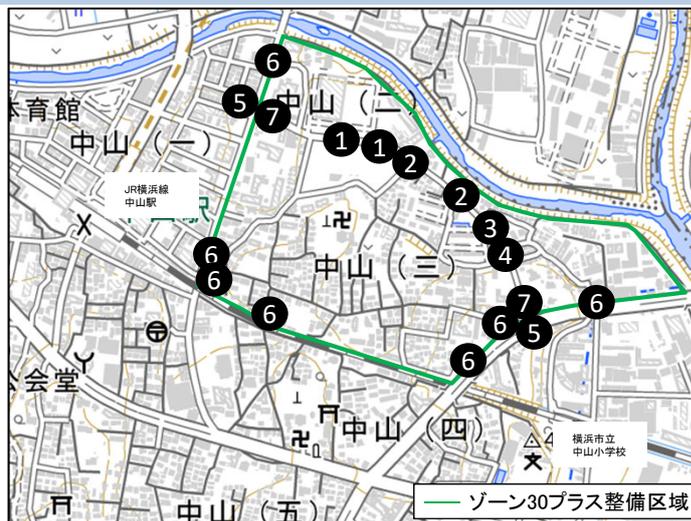
「生活道路におけるビッグデータを活用した交通安全対策」
～南区大岡小学校周辺地区～

○掲載内容
これまでの取組



○緑区中山町地区(対策内容)

No	対策内容
1	ハンプ
2	スムーズ横断歩道
3	狭さく
4	交差点カラー舗装
5	ゾーン30プラス標識(標準タイプ)
6	ゾーン30プラス標識(縮小タイプ)
7	ゾーン30プラス路面標示



国土地理院の地理院地図に対策実施箇所等を追記して掲載



⑤、⑦ゾーン30プラス標識・標示



②スムーズ横断歩道

横浜市HP

「生活道路におけるビッグデータを活用した交通安全対策」
～緑区中山町地区～

○掲載内容
これまでの取組



<参考>各地区における取組経緯と効果検証

各地区における詳しい経緯は、横浜市HPに掲載しています。

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/doro/anzenshishetsu/torikumi/seikatsu-anzen/>

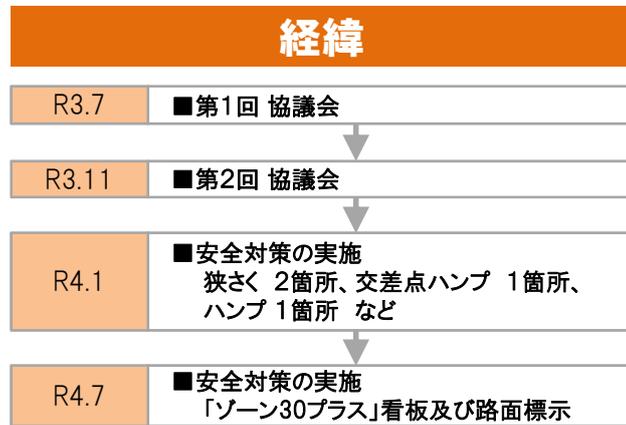
○南区大岡小学校周辺地区

これまで交通安全対策(規制を含む)を行っていましたが、南区内の他地区と比べて事故が多く発生している状況にありました。またゾーン30区域内にもかかわらずETC2.0ビッグデータの分析結果では、車の走行速度が高いといった課題もみられました。

そこで、このような地域の課題に対して、令和3年度に町内会と小学校、警察、横浜市等で構成される「交通安全対策協議会」を設立し、安全対策の検討を進めることにしました。

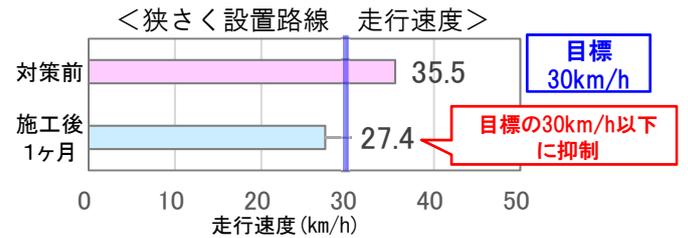
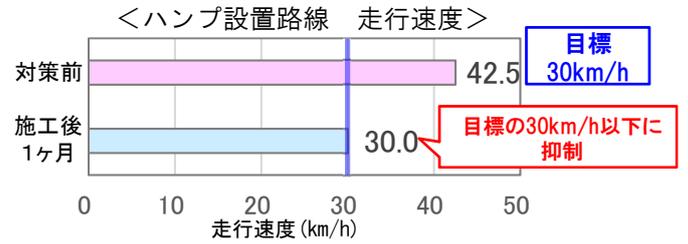
同協議会において意見交換を行った結果、物理的デバイスを含めた対策を実施することで意見がまとまり、令和4年1月に安全対策を実施しました。

経緯

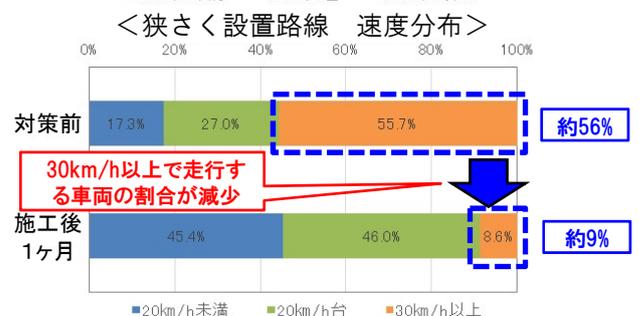
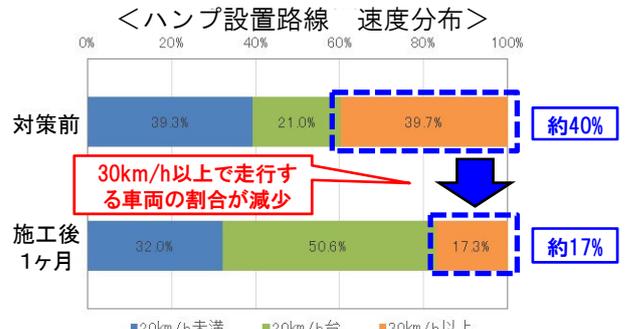


協議会の様子

▼走行速度及び速度分布(対策区間)



※走行速度は85%マイル速度(85%のドライバーが走行する実勢速度)



分析データ：ETC2.0プローブデータ

対策前：2019/1/1～12/31、対策後：2022/2/1～2/28

資料：ETC2.0ビッグデータ分析結果(国土交通省提供)を加工し、横浜市が作成

○緑区中山町地区

町内会を通じて安全対策の要望があり、周辺の道路状況を確認したところ幹線道路を避けて対象区間(ゾーン30区域及び通学路)を速度を出して通過する車両が多く、横断歩道部では歩行者が横断しづらい状況にありました。

そこで、「交通安全対策協議会」を設立し、意見交換を行い、令和2年3月に安全対策を実施しました。対策実施から1年6ヶ月後の令和3年9月現在も効果が継続していることが確認できています。

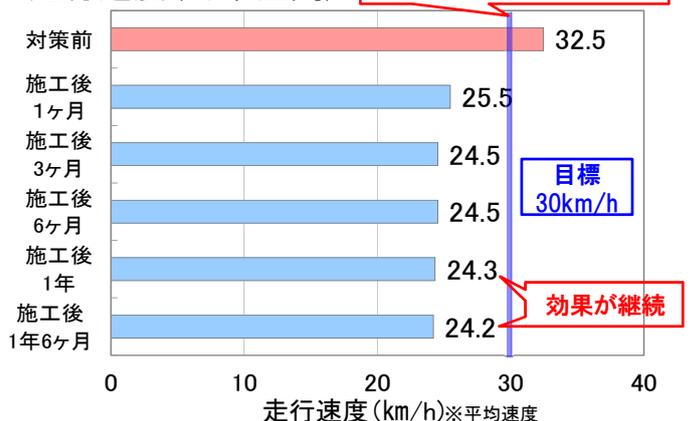
分析データ：ETC2.0プローブデータ

対策前：2017/11/22～12/16、施工後1ヶ月：2020/4/1～4/30

施工後3ヶ月：2020/6/1～6/30、施工後6ヶ月：2020/9/1～9/30

施工後1年：2021/3/1～3/31、施工後1年6ヶ月：2021/9/1～9/30

▼走行速度(対策区間)



資料：ETC2.0ビッグデータ分析結果(国土交通省提供)を加工し、横浜市が作成